

国際シンポジウム

「少年司法と子ども・若者育成支援」 — 国際比較を通して考える —

日時：2016年10月22日（土）13：00－17：00

会場：立教大学 池袋キャンパス 5号館5121教室

パネリスト

モニカ バリー氏 (**Dr. Monica Barry**) 英国・ストラスクリード大学

ダグ レオナルドセン氏 (**Professor Dag Leonardsen**)

ノルウェー・リルハンメル大学カレッジ

土井 隆義氏 筑波大学 教授

企画・司会者

小長井 賀與 立教大学 教授

シンポジウム内容

先進国では少年非行は減少傾向にある中、多くの国で再犯者率は高まっている。非行現象は国によって異なるが、根底には一群の少年に対する社会的排除や価値観の狭隘化など社会構造的な問題がある。

本シンポジウムでは、国際比較研究の視点をもって、あるべき少年非行対策や子ども・若者育成支援について考察する。

本学学生・教職員・交友・一般 対象

主催：立教大学コミュニティ福祉研究所

後援：日本犯罪社会学会

協賛：日本司法福祉学会

参加費無料
定員250名、先着順

問合せ先：小長井 賀與（立教大学コミュニティ福祉学部教授）
E-mail:k-konagai@rikkyo.ac.jp